

大樹町こども計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果

「大樹町こども計画（案）」に対するパブリックコメントで寄せられた「ご意見の要旨」と「意見に対する町の考え方」について、次のとおり公表します。

ご意見をお寄せいただき誠にありがとうございました。

【区分】

A	意見を受けて素案を修正するもの
B	素案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	素案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	素案に取り入れなかったもの
E	その他

No.	意見の要旨	意見に対する町の考え方	区分
1	子育て援助支援事業（ファミリーサポートセンター）について、設置数ではなく利用者数で見べきではないか。	第2期子ども・子育て支援事業計画では確保方策を設置数で表していましたが、第3期子ども・子育て支援事業計画（大樹町こども計画（案）P89）では、確保方策を「人/日」に改めました。	B
2	子育て援助支援事業（ファミリーサポートセンター）について、利用量の見込みが2人日とは毎日2人の利用を見込んでいるのか。	1年を通して平均1日2人の利用を見込んだ目標値としています。	B
3	子育て援助支援事業（ファミリーサポートセンター）について、広報紙でPRしていくとあるが、使われていないのは認知度が低いからと判断しているからか。使われていない理由の把握を正確に行っているのか。	広報紙等でのPRは、事業内容を周知すると共に、依頼会員・協力会員を増やす目的もあります。使われていない理由については、「知らない人に子どもを預けるのに抵抗がある」「利用の仕方がわからない」などの意見を頂いております。	E

No.	意見の要旨	意見に対する町の考え方	区分
4	基本目標 1 大樹町子育て支援の冒頭文章について、近くに頼れる親がいない移住者/転入者でも安心して子育てし働ける環境が大事なので、そのような視点で具体的な事業も検討いただきたい。	本計画書（案）を作成する上で就学前、小学生、中学生、高校生の保護者を対象にアンケート調査を実施しました。その中で、仕事と育児の両立のために必要な支援策の強化も子育て支援に関わる課題に上げられていますので、大枠で計画書に記載し具体的な施策については、子育て世代の意見を参考に行っていきます。	C
5	延長保育・病児保育について、計画書に具体的な時期や体制を書くべきではないか。	本計画（案）は、こども施策の大枠の方向性について記載しており、具体的な取組等については記載しておりません。	D
6	子育てと仕事の両立支援について、大樹町のジェンダーギャップ指数を正確に把握し、目標数値を設定することが、父親が育児に参加できる環境を作れると思うが。	本計画（案）にはジェンダーギャップに関わる目標はありませんので、今後の点検評価を行う時に、目標数値を設定するか否かを含めて検討します。	D
7	PDCA を行うための明確な目標値とサイクルは。	本計画（案）の PDCA サイクルを実施するための目標値は、第 6 章で国が定めた指針による目標については数字で目標値を掲げられるものは数字で目標を建て、数字で表せない目標については施策の実施の進捗状況などを評価目標に掲げるものです。 PDCA サイクルについては、本計画の中間年の令和 9 年度を予定しています。	E

No.	意見の要旨	意見に対する町の考え方	区分
8	学童保育所新設について 学童の居心地の良い環境にするための工夫や、現状の検討状況について教えてほしい。	本計画書（案）の P62 に記載のとおり、今後こどもたちが安全・安心して過ごせるよう、専用施設の整備について検討を進めることとしており、現状ではお示しする状況にありません。	E
9	病児保育の整備についてどのような体制で検討するのか、具体的な計画と検討状況を示してほしい。	病児保育の整備については、施設整備のハード面と保育士や看護師確保のソフト面の問題があり安定した利用者が見込めない点も含め関係施設等と協議が必要です。 具体的なスケジュールについて、現状ではお示しする状況にありません。 また、病児保育のニーズについては、今回の計画アンケート調査結果を参考に検討します。	E